MBT Consortium

MBT NEWS LETTER

第251号
’23/12/13

日本オーディオ協会が細井裕司理事長を2023年度「音の匠」に顕彰 “軟骨伝導の発見と実用化に貢献”の功績を称賛

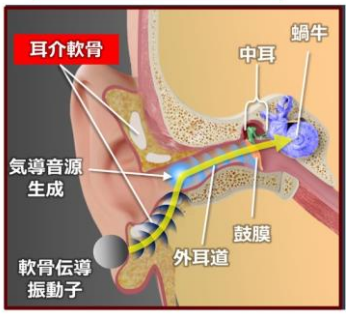
・一般社団法人日本オーディオ協会（会長:小川理子氏）では、1877年12月6日にトーマス・エジソンが錫箔円筒式蓄音機を完成させて音を記録・再生する技術を発明した12月6日を”音の日“として、音・音楽・オーディオなどの分野で卓越した能力を持ち、音を通じて文化創造や社会貢献をされた個人、または組織の方々を「音の匠」として毎年顕彰しています。

・第27回目となる2023年度は、奈良県立医科大学理事長・学長でＭＢＴコンソーシアム理事長の**細井裕司氏**が、**軟骨伝導の発見と実用化に貢献の功績**が認められ、**「音の匠」に選定**され、12月6日、東京都内で顕彰式が行われました（左写真）。

・歴代の「音の匠」は、下記URLやQRコードからも閲覧できます。第26回目の「音の匠」は、国際的なピアニストで奈良を拠点に活動を始められた**反田恭平氏**が選ばれており、2年続いて奈良にゆかりの「音の匠」が誕生しました。

https://www.jas-audio.or.jp/events_cat/takumi

軟骨伝導経路



・細井裕司氏が2004年に発見した軟骨伝導は、音源となる波形で振動する軟骨振動子を耳の軟骨部に接触させると外耳道軟骨にその振動が伝わり、新たに外耳道内に気道音が生成され、鼓膜、中耳を通って蝸牛で音を聞くことができるという原理です（左原理図参照）。

・軟骨伝導をイヤホンに応用しますと、通常の気道イヤホンにある音の出る穴が無くすることができ耳垢がたまらず清潔なこと、耳穴に突っ込むことが不要で耳のつまり感や耳の病気にならないこと、周囲に音が漏れないこと、など、多くの特徴を有しており、最近商品化された集音器付イヤホン（写真❶）は、周囲の騒音の中でもクリアに音を聴きとれることから、銀行や自治体等の接客窓口現場や、高齢者の会話も弾むようになることから認知症予防にも有効として高い評価が得られています。

❶

❷

・更には、写真❷のワイヤレス軟骨伝導ヘッドホンも商品化されており、今後軟骨伝導の特徴を活かした商品の実用化が期待されます。

“難病患者と、その家族を支援するMBT映画祭”

そのクラウドファンディングに参加していただけませんか！

募集期間：2023年11月10日～12月31日

・3000円から寄付できます

・ｸﾗｳﾄﾞﾌｧﾝﾃﾞｨﾝｸﾞはこちらから

https://camp-fire.jp/projects/view/703034

発行　（一般社団法人）ＭＢＴコンソーシアム、　（公立大学法人）奈良県立医科大学
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内　担当　塩山
ＴＥＬ：0744-29-8853（直通）、ＦＡＸ：050-3164-5598　、　Email: mbt@mbt.or.jp